

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	仙台市
共同提案者名	東北電力株式会社、東北電力ソーラーeチャージ株式会社、東日本電信電話株式会社、カメイ株式会社、アイリスオーヤマ株式会社、大成建設株式会社、ダイキン工業株式会社、みやぎ生活協同組合、株式会社七十七銀行、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、定禅寺通街づくり協議会、一般社団法人定禅寺通エリアマネジメント、国立大学法人東北大学
選定回	第4回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	中心市街地・住宅地再生、資源循環
地域脱炭素の基盤創出	中核企業との連携、地元事業者育成、住民等の行動変容（スポーツ等との連携）
需要家・エリア設定	住宅街・住宅団地、市街地（オフィス街・業務ビル、商業施設等）
創出する再エネの種類・導入技術等	高度なエネマネ（VPP、DR）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{25.4}{16,427,678} (\%) + \frac{0.4}{279,835} (\%) \right) \div \frac{64,753,037}{64,753,037} (\text{kWh/年}) = 25.8 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	659	3,210,648	781,865	0	71,251	0	853,115	0	380	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
民生・業務その他	オフィスビル	27	9,456,065	179	0	7,654,501	0	7,654,680	253,515	3,640	
	商業施設	41	17,006,419	221,362	0	7,458,219	0	7,679,581	26,320	3,612	
	宿泊施設	1	320,000	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	90,418	37,973	0	0	0	37,973	0	18	
公共	公共施設	7	34,553,176	0	0	86,018	0	86,018	0	38	以下3件については事業者選定済みであり、R8以降に稼働が確実である。 ・南蒲生浄化センターオンサイトPPA (2,222kW) ・延寿埋立処分場オフサイトPPA (940kW) ・下水汚泥消化ガス発電 (1,980kW)
	その他	2	116,311	0	0	116,311	0	116,311	0	51	
合計			64,753,037	1,041,379	0	15,386,300	0	16,427,678	279,835	7,738	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	235	160						395

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
25%	75%	85%	100%	100%	100%

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	19,991,977	44,323,672	48,096,017	65,892,866	55,045,149	0	0
	累計		0	19,991,977	64,315,649	112,411,666	178,304,532	233,349,681	233,349,681	233,349,681
実績	単年度		0	23,743,162	8,618,069					
	累計		0	23,743,162	32,361,232					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：定禅寺通の人流

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		—	500人 (12:00～ 13:00) 700人 (17:00～ 18:00)	500人 (12:00～ 13:00) 700人 (17:00～ 18:00)	500人 (12:00～ 13:00) 700人 (17:00～ 18:00)	500人 (12:00～ 13:00) 700人 (17:00～ 18:00)	600人 (12:00～ 13:00) 800人 (17:00～ 18:00)	700人 (12:00～ 13:00) 900人 (17:00～ 18:00)	800人 (12:00～ 13:00) 1,000人 (17:00～ 18:00)
	累計		—	—	—	—	—	—	—	—
実績	単年度		—	629人 (12:00～ 13:00) 711人 (17:00～ 18:00)	797人 (12:00～ 13:00) 763人 (17:00～ 18:00)					
	累計		—	—	—					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度を活用し定禅寺通エリアの省エネ・ZEB改修を促進。省エネ・ZEB改修のみならず、定禅寺通エリアのビルオーナーを対象としたエリアの活性化に向けた意見交換会を実施。 先行地域エリア周辺でZEB改修に取り組むビルを「定禅寺ZEBスポット」と位置づけ、看板等を設置するなどの広報を実施したほか、ゼロカーボンイベント等を通じ、賑わい創出と市民の意識改革・行動変容に繋がる取り組みを実施した。
------	---

■指標②：既築住宅（紫山3・4丁目）への太陽光発電と連携する蓄電池またはV2Hの新規導入件数（上段）、断熱改修補助制度の活用件数（下段）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		—	30戸	50戸	80戸	130戸	150戸	0戸	0戸
	累計		—	30戸	80戸	160戸	290戸	440戸	440戸	440戸
実績	単年度		—	19戸	11戸					
	累計		—	19戸	30戸					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池については、建設物価上昇等による費用対効果への懸念から、一部導入が遅れているが、卒FITとなる太陽光既設住民向けの個別の案内実施等により導入の推進を図っている 断熱改修については、本交付金の対象となる住宅全体の断熱改修ではなく、窓の部分改修ニーズが高く、補助制度活用が進んでいないが、断熱改修に関心のある住民への案内等を実施している。
------	---

■指標③：東部沿岸部の主要観光施設3カ所（アクアイグニス仙台、JRフルーツパーク仙台あらはま、震災遺構仙台市立荒浜小学校）の年間観光客入込数の合計（上段）
EVカーシェアサービスの年間走行距離（2台分）（下段）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		—	780,000人 33,000km	800,000人 33,000km	840,000人 33,000km	880,000人 33,000km	920,000人 33,000km	960,000人 33,000km	1,000,000人 33,000km
	累計		—	780,000人 33,000km	1,580,000人 66,000km	2,420,000人 99,000km	3,300,000人 132,000km	4,220,000人 165,000km	5,180,000人 198,000km	6,180,000人 231,000km
実績	単年度		—	740,584人 29,394km	— 16,542km					
	累計		—	740,584人 29,394km	— 45,936km					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度実績は9月末時点までの実績であり、順調に推移している。 周遊促進に向けたキャンペーンを実施。
------	--

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

●自治体外への横展開

○視察等の受け入れ等を積極的に行っている。

・令和6年度…7件 ・令和7年度…16件

○脱炭素先行地域に選定されている政令市での意見交換会（脱炭素先行地域に選定されている全14政令市が参加）を本市にて開催し、優良事例の紹介や課題の共有等を行った。

○「仙台防災未来フォーラム2025」（令和7年3月開催）での市・事業者からの取組説明のほか、「第2回やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会」（山形県主催）や「日本技術士会研修会」にて本市の取り組みについて講演を行ったほか、専門誌等に脱炭素先行地域の取組に係る寄稿を行った。

●市内の先行地域外への横展開

○普及啓発の取組により、市全域において理解醸成を図っている。

（令和7年度）

・ビルオーナーのZEB改修の意識醸成や、地元事業者の技術力・競争力向上を目的に「ZEB改修普及セミナー・見学会」を開催。31団体60名が参加。

・仙台市高断熱住宅普及促進協議会と連携し、高断熱住宅にかかる現場見学会、セミナー、座学研修会を開催。本補助制度の届出事業者等が参加。

・全市域において、市民の環境配慮行動を促進する取り組みを実施。

・先行地域事業の施策・取組事例を掲載した「成果発信ホームページ」を開設（令和7年9月30日）

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

「杜の都環境プラン（2021-2030）」及び「仙台市地球温暖化対策推進計画2021-2030」において、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、家庭部門・業務その他部門における脱炭素の取組を一層加速させるとともに、本市の脱炭素化モデルを創出し、脱炭素先行地域の取組を推進することとしている。